

西中だより

平成27年度 No.27
平成28年 2月16日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

&&& 各種コンクール入賞生徒の紹介（敬称略）&&&

- 前号の田善顕彰版画展入賞者紹介で1年齋藤 茜さんの掲載を落としてしまい申し訳ありませんでした。お詫びしてお知らせいたします。【優秀賞】：齋藤 茜（1年）「マメタイムス社賞」
- 第31回ユネスコ世界平和作文入賞者「 題名 」
【特別賞】・日本ユネスコ協会連盟会長賞：鈴木穂乃花（1年）「平和の輪」
・須賀川市教育委員会教育長賞：磯谷 壮樹（1年）「平和につながる心のバトンタッチ」
【優秀賞】・遠藤 涼（2年）「平和な世の中を目指して」
【優良賞】・齋藤 茜（1年）「平和と幸せ」 植田 さき（1年）「平和とは」
・新井木乃香（1年）「『知る』ということ」 関根 里夏（1年）「平和な社会と地域の伝統」
・佐藤 千尋（2年）「『学ぶ』ことと平和のつながり」

◆◆◆ 生徒会奉仕委員会の活動（プルタブの回収）より ◆◆◆（敬称略）

○12日（金）の昼休みに、生徒会の奉仕委員会の生徒2名とこれまで回収したプルタブを横山工業団地の中にある「大越工業」さんへ運び、お金に換えてきました。プルタブは全部で約50Kgで、5千円になりました。今後、生徒会でユネスコに寄付したり、各種募金の際に活用したりする予定です。皆様のご協力に心から御礼を申し上げます。また、生徒が学んだ感想を紹介いたします。

- ・「プルタブ交換に奉仕委員長として同行させていただき、物の価値について学ぶことができました。3年間皆で集めたプルタブが、世界の中で誰かの役に立つと思うととてもうれしい限りです。」（廣瀬海月）
- ・「私はアルミという金属の価値を知ることができました。アルミは1Kgあたりで100円です。今回皆であつめたアルミは50Kgで、換金したら5,000円になりました。3年間みんなで努力して、集めることの大切さが分かりました。」（渡辺瑠奈）



《 校長のつぶやき 》・・・「先輩達が大切にしてきた“文武両道”とは」・・・

○体育館の壁に掲げてある幕に「文武両道」の文字が刻まれています。その意味を皆さんは考えてみたことがありますか。皆さん一人一人が自分なりに強く胸に思い描いたことが、その答えです。

例えばA君の答えは「勉強に部活動に頑張ること」です。Bさんは「勉強にも部活動にも自分なりの目標を持って、その達成に向けて努力すること」です。C君は「勉強と部活動のバランスを考え、自分のペースで取り組むこと」です。このように、自分の考えを持つことが、これからは大事になります。

○数年前、夏の甲子園大会で優勝した前橋育英高校野球部の活動の様子がNHKで放映されました。チームは、1日3時間以内の練習だったそうです。練習では、特に守りの練習に時間を使ったことが話題を呼びました。そのチームの部員一人一人が大切にしていた言葉が凡事徹底「(ぼんじてってい) 意味：小さな努力の積み重ねで、大きな事ができる。」です。

○勉強や部活動にも調子の波があります。不調の時には部活動（勉強）の頑張り、自分を支え励ますことができます。部活動（勉強）で自信を持てればその効果が勉強（部活動）にも必ず波及します。これを「転移する」と言います。人という文字が二本で支え合うように、勉強と部活動と二つのことに一生懸命取り組むことが大切だと思います。○今、毎朝校舎内や校長室を自分から清掃してくれる3年生がいます。その3年生に始めた理由を聞いてみました。彼は「自分は高校入試という目標を一つクリアできました。次は、4月から始まる高校生活に向けて、自分自身の心を鍛え今の生活習慣を乱さないようにしたいのです。」もう一人の3年生は「自分は4月から寮生活を始めます。体験入学で寮生活をしている先輩の部屋を見学させてもらったら、とても綺麗に整理整頓されていました。今から清掃に慣れ、自分もしっかり生活できるようになりたいのです。」と話してくれました。

